

# 令和5年度予算編成方針

令和4年8月 酒田市長

## 1 基本的な考え方

令和4年6月7日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、政府は、「人への投資」をはじめとした重点投資分野への官民連携投資の方針を示すとともに、民間の力を活用した社会課題解決に向けた取組みや多様性に富んだ包摂社会の実現、一極集中から多極化した社会をつくり地域を活性化する改革の方向性を示している。

本市においても、国や県の動向を見据え、輸入資源の価格高騰や新型コロナウイルス感染症による経済活動への厳しい影響を克服し、経済の好循環を加速・拡大させる取組みを展開していかなければならない。

その上で、酒田市総合計画に掲げる「めざすまちの姿」を実現するため、策定中の後期計画を念頭に置きながら、未来への投資となる施策を取捨選択して展開することが重要であり、次の6項目を「重点化する取組み」として、令和5年度予算を編成する。

## 2 重点化する取組み

### (1) 経済と環境の両立による再生可能エネルギー循環都市の実現

山形県沖における洋上風力発電事業など再生可能エネルギーの導入促進、山形県と連携した酒田港の基地港湾指定や地域脱炭素に向けた取組みなど、再生可能エネルギー循環都市の実現に資する取組みを重点化する。

### (2) 地域産業の競争力強化による良質な就労の場の拡大

地域産業における労働生産性の向上に資するデジタル化などの設備投資、付加価値の高い成長分野の企業立地、農林水産業の持続可能な成長の推進、域外需要の取り込み、スタートアップ支援、「日本一女性が働きやすいまち」の実現など地域産業の競争力を強化することにより、本市で働く人にとって良質な就労環境を拡大する取組みを重点化する。

### (3) 多様な地域資源の情報発信と文化芸術活動の活性化による賑わいの創出

山居倉庫周辺、JR酒田駅周辺、日和山公園周辺、酒田港みなとオアシス、中町周辺、八幡、松山、平田地域と飛島など多様な地域資源の情報発信や、希望ホールを中心とする文化芸術活動の活性化による賑わいの創出に係る取組みを重点化する。

#### (4) スクール・コミュニティによる学校を核とした地域づくりの推進

子どもを縁(えにし)として地域社会と学校の協働関係を強化する「スクール・コミュニティ」の定着を図り、小中一貫教育を進める各中学校区の実態に合わせた多様な連携・協働を実践する、特色ある地域づくりを推進する取組みを重点化する。

#### (5) 誰もが暮らしやすいまちの実現に向けた包括的な支援体制の充実

誰もがいきいきと暮らし、住み続けたいと思えるまちを目指し、市民の多様化・複雑化した支援ニーズに対応する「福祉総合相談窓口」の設置による重層的な支援体制を整備する取組みや、「こども家庭センター」の設置による子育て世帯に対する一体的な支援機能を強化する取組み及び医療・介護・介護予防・住まい・自立した日常生活を包括的に支援する「地域包括ケアシステム」を推進する取組みを重点化する。

#### (6) デジタル技術の実装による市民生活の利便性向上

デジタル田園都市国家構想を踏まえ、通信インフラの最適化、時間・場所にとらわれず市民サービスを享受できる仕組みや地域のデジタル変革を後押しする体制の構築、デジタル人材の育成、市民のデジタル技術活用力の底上げなどを進め、デジタル技術の実装による市民生活の利便性向上を図る取組みを重点化する。

### 3 予算編成の方法等

予算編成にあたっての具体的な方法等については、予算編成要領によることとするが、予算要求にあたっては、「重点化する取組み」を基本としたうえで、優先性・緊急性の高い事業を選択して要求することとする。特に、翌年度以降、経常的経費に移行する臨時的経費については、後年度の負担経費も含めた総合的な評価を行い、既存事業についても有効性の観点から見直しした上で要求することとする。さらに、有利な財源等の活用努めるとともに、今後の国、県の予算編成や地方財政対策の動向を注視し、本市の予算編成過程においても柔軟に反映することとする。